

三保松原景観改善の取組

～「防護」と「景観」を高い次元で両立させる取組～



R5.9.11 定例幹部職員会議 河川砂防局

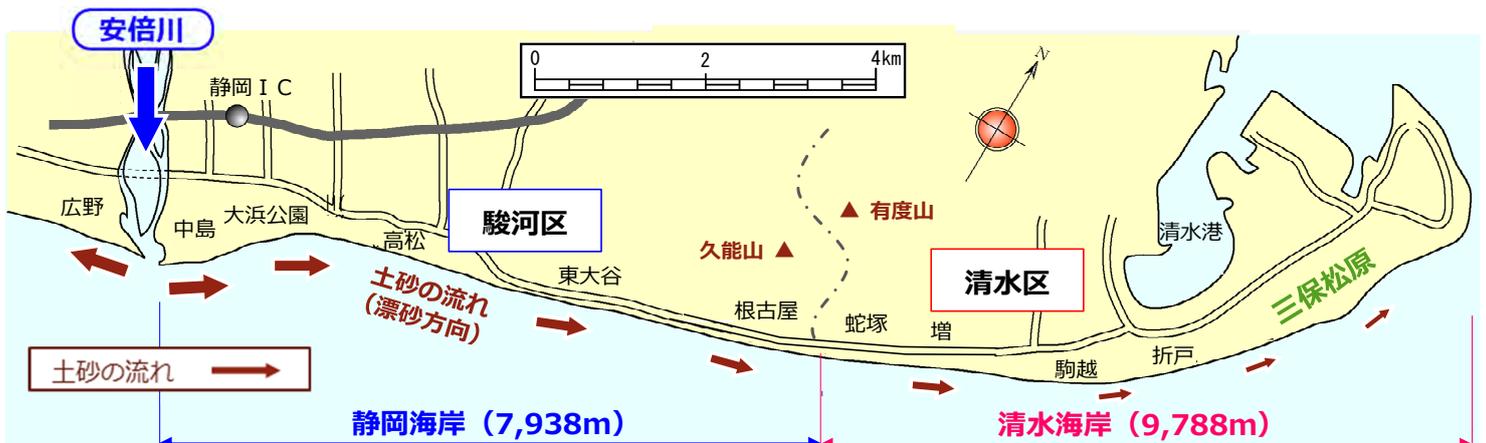
清水海岸の位置、成り立ち

2

三保半島は、安倍川からの豊富な土砂供給により長い年月をかけて形成された日本を代表する「砂嘴地形」

昭和30年代に行われた安倍川の砂利採取を契機に海岸侵食が進行し、昭和50年代には静岡海岸の砂浜が消失

清水海岸の砂浜保全と越波被害の防止を目的に昭和58年度から海岸事業に着手



イコモスの評価及び勧告の抜粋

著名な広重の版画に見られる展望地点ではあるが、
複数の関連する展望地点が存在し、そのうちのいくつかは、
消波堤が存在するため、美しさの観点から望ましくない。



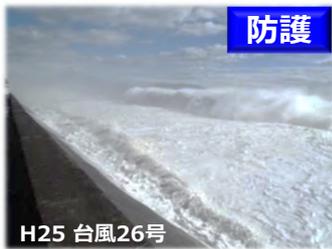
歌川広重「富士三十六景」

H25. 8 「三保松原白砂青松保全技術会議」を設立

「防護」と「景観」を高い次元で両立させる検討



近藤座長



防護

H25 台風26号



景観

和田英作 松原富士



最終報告書を手交 (H27.3)

景観改善の状況

当面の対策方針（提言内容）

羽衣の松から視認性が高い
1号、2号消波堤の景観改善を優先的に実施

- ① 1号消波堤に代わる1号突堤の整備
- ② 1号消波ブロックの段階的な撤去



平成31年3月 (① 1号突堤の完成)



平成25年12月 (対策前)



令和5年1月 (②ブロックの一部を撤去)

フォローアップ会議における専門家からの御意見

- 1号消波堤は**見事に目立たなくなった!**
- このような事例は**世界的にもあまりない**。ぜひ**世界に発信**してほしい!
- 海岸事業は、**長いタイムスパンで成果が現れることを県民に認識**してもらうことが重要。
- フォトコンテストの時のように、**周辺に与えた効果をまとめ**、次の10年間に繋げてほしい!



葛飾北斎 富嶽三十六景「尾州不二見原」



「富士山」「松」「起重機船」をテーマにした フォトコンテスト (H30.4開催)

インフラを通じた「未来の地域づくり」

景観改善の取組から10年の節目を契機に、インフラを通じた「未来の地域づくり」に向けて**10周年記念シンポジウムを開催**



シンポジウムのねらい

- ① **海岸事業に対する県民の理解を深める**
 - 土地の成り立ちや歴史を踏まえた海岸事業の効果、必要性をPR
 - 景観改善の効果、2号新堤の整備をPR
- ② **美しい砂浜と松林を「未来ヘツナグ」ための交流を図る**
 - 地域（“シズマエ”と“オクシズ”）をツナグ
 - 歴史を知り、文化をツナグ



“インフラ”と“地域”の魅力を広く県民に発信



美しい砂浜と松林を、**地域といっしょに未来ヘツナグ!**

インフラミソ



基本理念

富国有徳の美しいふじのくにの実現に向けた「いっしょに、未来の地域づくり。」
～誇りと愛着を持って県土を育み、静岡の明るい未来へ～

“場のカ”を
最大限活用

シビックプライド
の醸成